

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客1人当たりの買上点数が増えており、客単価もかなり上がってきているため、良くなっている。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・今月はクリスマスのイベントがあったので、ケーキやチキン、アルコール類の販売が大きい。また、年末に向けて、弁当類が動いている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・年末年始へ向け、客が多くなる時期で良くなっている。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・見学や問い合わせ、葬儀の依頼が増えている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・お歳暮、クリスマス商材、そしておせちなど年末のイベント商材の売行きが良かったため、2～3か月前よりは、大分良いというところである。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・販売単価がわずかに上向いているものの、買上点数は変化していない。1人当たりの購買額は上昇傾向にあるように感じている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年度末なので、来客数が少しずつ増えている。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・前年落ち込んだ忘年会需要が、一昨年以前の水準に戻っている。新年会の予約受付状況も忘年会と同様の傾向にある。高額なクリスマスディナーの予約も多く入り、足元の景気はやや良くなっているように感じられる。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今年の12月は曜日並びがよく、クリスマスが3連休となったため、販売が伸びている。製造業の業績も良いようで、忘年会も比較的好調である。今秋は前年のようなシルバーウィークはなかったが、今月は好調である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年、12月は1年で一番売上が良い。今月は前年比100%ぎりぎりだが、なんとか行けそうである。
		美容室（経営者）	それ以外	・結婚式場及びホテル等に入店している美容室では、12月の土日祝日の大安の巡り合わせが良く、婚礼和装の着付け、洋装ドレスの仕事が忙しく、前年より2割ほど売上が増加している。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・たまたまかもしれないが、相続で土地などの不動産を手放す機会が多くなっており、仕入物件数が増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・歳末の売出し中だが、しめ飾り1本をかうのに各店を回り、少しでも安い物と探し回って歩く人が目立つ。景気は悪い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・11月末のプレミアム付商品券は即完売したものの、個人商店での利用は少なく、来客数は増えていない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・昔ながらの古い商店街の客の動きは悪い。その一方で、大型店に行ってみると、どこも結構混んでいる。客の動きが大分変わっているの、なんとか対策を練っていかねばならないとつくづく感じている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・大河ドラマ景気も最終章であるが、この1年、想定以上の倍以上の来客があり、感謝している。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・気候は完全に冬型になってくる。歳末の商店街の売出しも大型店との競合で、連日のチラシなど、個人店はなかなか対抗できない。客も正月に向かって引締められているので、あまり景気は変わらない。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・年末といっても普段と変わらず、家電購入にこれと言って消費者の購買意欲が増すようなこともなく、地上デジタル放送対応、エコポイント制度導入時等で販売した液晶テレビがぼつぼつ買換え時期に入ってきている。ただし、テレビが壊れても修理代がかさまない限り、購入には結び付かない。依然として売上増は難しい状況である。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・年末を迎えるが、年末の繁忙という感じが全くない。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温の低下に伴い、一部婦人アパレルに改善傾向がみられるものの、限定的で、アパレル不振は依然継続している。化粧品など堅調なアイテムもあるが、トータルでは厳しい状況が続いている。
	百貨店（店長）	来客数の動き	・来客数が激減している。	

スーパー（総務担当）	販売量の動き	・前月同様、今月も前年売上、来客数の9掛けの状況である。ただし、前月よりは9掛けといっても91%から99%に上がっているため、多少良くなりつつある。食品がまだ前年の数字を超えていないため、少し気になる。
スーパー（統括）	販売量の動き	・冬季ボーナス商戦は、お歳暮、クリスマスケーキ、おせちセット共に、出足が鈍かったが、公務員のボーナス支給日、年金支給日以降に盛り返している。野菜価格も安定し食料品102%、衣料品101%、住居関連品101%、全体では101.9%と微増ながら、既存店の前年実績を超えており、消費マインドのわずかな好転を感じられる。
スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・来客数、客単価などの推移に大きな変化はないが、中分類の売上に大きな変動が出ている。青果物は良いものの肉類の売上は良くなく、気掛かりである。
スーパー（副店長）	来客数の動き	・今年1年の来客数が前年の1割ほど減少している。特に状況の変化がないのに、来客数が前年の1割近く減少している日もある。
コンビニ（経営者）	お客様の様子	・12月はスキー場にあまり雪がなく、スキー客が激減しており、その分売上が減少している。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・12月は、売上が1日当たり千円マイナス、来客数は1日当たり15人マイナス、売上全体では28日現在、17万円ほどマイナスである。微減で、客の様子からやや悪いと感じている。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月はイベントが終わったところだが、前年同月に比べて、特別大きな変化はなく、2～3か月前と比べて、客の変動もないため、変わらない。
衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・3か月前からは悪いままで変わっていない。当店の客は年金生活者が多いので、その辺もかなり見込んでいたものの、残念ながら12月のイメージの売上にはほど遠い。先行き不安か分からないが、客の財布のひもは固い。かなり悪い状態が続いている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ボーナス商戦を期待していたが、今月も良い変化はみられない。車検や一般整備は、若干の増加があったものの、車両販売は相変わらず低迷している。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・先般の賞与支給状況は、業種、業態、そして企業の大小によって色分けができてしまうようである。自動車等の製造業大手及びそれに準ずるところや、大規模小売店の一部は良いが、それ以外は前年に比べて落ちている。優勝劣敗が加速している。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・高齢ドライバーの交通事故の多発が社会問題となり、車を手放す高齢者も多く、顧客がなかなか増えない。
乗用車販売店（販売担当）	競争相手の様子	・自動車販売だが、同業者の総会で、「今年の12月は、今までにない12月だ」と皆が話していた。当社も同様に、今までにないほど販売量が減っている。
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車販売が伸び悩んでいる。中古車はそれなりに売れているものの、販売台数が圧倒的に少ないまま推移しており、2～3か月前と比べても変わらない。
乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・国産車は普通車、軽自動車共に、EV車やPHEV車の投入が多くなり、特に、軽自動車は前年を上回る販売となっている。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・客数減により、例年12月並みの販売量には至っていない。人の動きが今一つ少なく、それとともに販売量低下を感じている。
住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・12月に入り寒さが落ち着いた影響もあり、来客数は減少傾向にある。依然として消費の閉塞感は拭えず、節約志向が固定化している感じである。
その他専門店〔燃料〕（従業員）	お客様の様子	・設置工事等が発生して動きが出ているものの、内容は軽微な工事となっている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・忘年会に関しては、年々期待できない状況にある。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・依然としてディナータイムの来客数が非常に少なく、客単価も少しずつ下がっているため、なかなか売上が伸びることはない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・変わらないと回答したが、これは良くないという意味である。来客数、客の様子、競争相手の様子など、全部一緒になっているような気がする。とにかくお金の回りが良くない。

	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・3か月前とは少し違い、前年12月との比較ではそれほど客が来ていない。地方都市ではまだ景気があまり良くない。
	都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・県央、県北地区は、法人の団体を含めて稼働が安定している。県南地区は、一部インバウンドの関係もあり、また、個人客がそれなりに集まって稼働が安定している。3か月くらい前から安定しているので、そこから比較すれば、変わらない。
	都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・団体及び個人予約が引き続き好調である。年末の予約も例年と比べて動いているように感じている。
	旅行代理店(所 長)	来客数の動き	・外国人客の動きは、引き続き堅調ではあるものの、あくまでも東京をベースとした日帰り客で、地方への経済効果は期待できない。国内旅行客も、カレンダーの日並びが悪く、ピーク時にのみ集中している状況である。
	旅行代理店(従 業員)	お客様の様子	・高額商品の販売数が伸びてこない。
	旅行代理店(副 支店長)	お客様の様子	・個人旅行や企画募集旅行に伸びがなく、前年比でも8割程度にとどまっている。天候不順による客の減少が主な要因と思われるが、それ以外にも海外旅行では為替の不安定さやテロによる渡航の是非が大きな要因と考える。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月は、忘年会の時期で、週末は多少動きがあったものの、平日はその反動で、12月とは思えないほど街中もひっそりしていて悲惨な状況である。週末に出番の人と非番の人では、売上が極端に違う。忘年会等をやらないところもあるようである。地方の景気はかなり良くない。
	タクシー(経営 者)	お客様の様子	・全体的に動きが悪く、前年同月と比べて4%減である。
	タクシー(役 員)	お客様の様子	・曜日が違うだけで、客の様子も極端に違う。
	通信会社(経営 者)	お客様の様子	・新築住宅であっても、新規加入になかなか結び付かない。
	通信会社(経営 者)	販売量の動き	・販売量の増減はなく、横ばいである。
	通信会社(店 長)	来客数の動き	・購入目的の来客数が減り続けている。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・12月は暖かい日が多く天候も安定し、さらにクリスマスも連休であったことから、来客数は増えている。
	ゴルフ場(経営 者)	それ以外	・相変わらず求人難である。
	ゴルフ場(支配 人)	それ以外	・自然相手の職業とはいえ、11月の降雪、12月に入ってから寒暖の差で、客の動きが大きく左右されている。ただし、全体の予約は堅調である。平日は高齢者の予約が多く、全日でも、20~30代の来場者は少ない。
	ゴルフ場(総務 部長)	来客数の動き	・来場者数は増加しているが、景気が良くなっているためではなく、前年同様に天候に恵まれていることや自助努力による増加であり、景気は変わっていない。
	競輪場(職員)	お客様の様子	・入場者数、購入単価共に、ほとんど変化がみられない。
	その他サービス [立体駐車場] (従業員)	お客様の様子	・来客数は若干増えている。しかし、それは例年の傾向と同じである。単価は横ばいで、相対的に販売量も横ばいで、変わらない。
	その他サービス [イベント企 画](職員)	お客様の様子	・客の様子は、平年並みで推移している。
	設計事務所(経 営者)	来客数の動き	・仕事量は少なく、小型物件が増えて報酬は減っている。
	設計事務所(所 長)	来客数の動き	・3か月前とほぼ変わらないが、年末に向けて打ち合わせ等が忙しく、動きがあって受注も順調である。
	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近、貸店舗の事務所系の引き合いが全くない。店舗系はちらほらあるが、オフィスビルは相変わらず空室状態が続いている。土地も、安い物件の引き合いはあるものの、数はかなり減っている。景気は停滞が続いているような気がする。
	商店街(代表 者)	販売量の動き	・年末だというのに街中に人影がない。歳末商戦という言葉は死語になってしまったようである。必然的にプレゼント、お歳暮共に売行きは悪い。

	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・年末も天気良く、助かっている。当地は観光地のため、観光客は沢山来ているが、あまり買ってはくれないので、なかなか大変である。
	百貨店（副店長）	販売量の動き	・ごく一部の外商富裕層の購買意欲は旺盛で、お歳暮ギフトも前年を超えるなど、明るいニュースもちらほらあったが、婦人服、紳士服は相変わらず出口が見えないような状況にある。この冬も洋服売場の商品はどこも同じような物しかなく、自分自身でさえ購買意欲が湧かない。メーカーが消化率だけを考えて安全な色、形、サイズだけに絞っているのだろうが、あまりにも特徴がなく魅力に欠けるため、これではセールになっても買わないだろう。負のスパイラルに陥っているような気がする。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・チラシ広告が非常に増えている。
	家電量販店（店長）	販売量の動き	・今月前半は日計の前年比を割り込む日が多く、中旬の土日から徐々に前年をクリアする日が出てきたものの、12月全体では前年クリアが精一杯である。好調な商品は4Kテレビや冷蔵庫、洗濯機などである。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・競合他社でも新型車の発表、発売が相次いでいるため、販売環境は厳しくなっている。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・忘年会シーズンにもかかわらず、飲酒を伴う動きが大変悪い。わざわざ予約を入れて食事や宴会をする客が少なくなってきた。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・大河ドラマ終了の影響が、もろに出ているようである。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・これまで比較的順調にきていたが、今月は忘年会需要が非常に悪く、久しぶりに落ち込んでいる。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・雪が降らず近隣スキー場がオープンできなかったり、一部コース滑走可という状態のため、客足が伸びない。雪不足のまま年末年始を迎えることを心配している。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	それ以外	・師走だというのに、道路を走る車の通行量がスカスカである。
	設計事務所（所長）	それ以外	・メーカーや工事業者に聞くと、「前年の年末は忙しかったが、今年はそれほどでもない。それより来年が本当に心配である。」とのことで、全く同感である。
	× 百貨店（営業担当）	来客数の動き	・前年を大幅に下回る来客数で、店内はいつも閑散としている。気候やトレンドで片付けることができない悪さで、3か月前と比べると大幅に悪化している。
	× 通信会社（経営者）	販売量の動き	・地方の景気は低迷というより悪化し続けている。売上は3か月前との比較でも、月を追うごとに減少の一途をたどっている。
企業動向関連 (北関東)	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地元の自動車メーカーの米国への輸出が増加している。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・当社事業は3本柱で、1本目は開始から20年が過ぎ、2本目も同様に13年が過ぎ、3本目の太陽光発電も順調に伸びている。
	食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・工場見学等の来場者数はやや落ち込んでいるものの、各メーカー共、輸出や酒販店への売込み等、独自の営業努力で、売上を伸ばしている。
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・計画していた生産量に単発の受注もプラスとなり、生産、売上を伸ばせている。そのため単月で見るとやや良くなっている。
	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年のことだが、売上が増加している。
	一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先工場の熱処理業者で、建設機械、自動車の仕事が増えつつあり、当社の要求納期では熱処理ができない案件が出始めている。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・9～10月と前年割れであまり状況は良くなかったが、11～12月はかなり受注量が増えて、なんとか前年比プラスになっている。理由はよく分からないが、かなりの会社から引き合いが来て、12月は残業で対応するような状況である。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年の今ごろ、あるいは6か月前に比べ、仕事が確保しやすくなり、大分楽になってきている。他社も増産のところが増えてきている。

	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・取引先の自動車、医療機器、半導体製造装置等の部品製造業者では、受注が上向いている。また、飲食、小売、ホテル、旅館業でも売上が順調な取引先が多数ある。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末商戦の宣伝広告は、前年より1割程度増えている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・商店、商業施設などへの人出や街なかの車両通行量増など、外向きの行動が増えて、飲食関係の消費がやや増加しているようである。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今期に入ってから、当社は取引先からの受注減に伴って悪い状況が続いている。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・この2～3か月は取引先、販売量、受注量の様子共に安定しており、景気は良い。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末商戦が今一つ盛り上げられずに終わっている。追加オーダーもほとんどなく、厳しい状況である。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・12月に入り、暖房家電や冬物寝具等の物量、特に、インターネット通販向けが増えている。ただし、全体的な輸送量は前年並みの推移である。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・米国の次期大統領の政策への期待からドル高が進み、輸出関連企業にプラスの影響が期待されるほか、中国などの受注に下げ止まりの動きがみられる。一方で、観光関連では大河ドラマ効果の一巡や雪不足の影響も懸念される。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・今月は清掃のスポット業務が例年並みにあり、それ以上の受注や落ち込み要素もなかったため、横ばいである。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は、前年比94.3%である。量販店や紳士服販売店では、「初旬の冷え込みもあり、冬物がよく売れ、前年並み」とのことである。
	社会保険労務士	取引先の様子	・小売業は業績が改善していないなか、賃金上昇の影響が出つつある。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数、受注量共に、特段の変化はみられない。
	食料品製造業（製造担当）	それ以外	・原料を安く買えるはずだったが、円安でその恩恵を受ける状況ではなくなっている。
	不動産業（経営者）	それ以外	・新築物件が増加しているなかで、空家や空き部屋が増加している。
	× 窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・クリスマス関連の商品や教室等、相当PR展開をしたが、予想外に反響を得られていない。
	× 建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上高の95%を占める建設業である。今年度は公共工事発注が前年の89%と大幅減になっており、前々年との比較では79%と大変な状況である。現政権誕生後、順調であった公共工事がここにきて厳しい状況を迎えている。当社も売上が10%減と経営が厳しく、今後が心配である。
雇用 関連 (北関東)	-	-	-
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・公共事業や一般住宅の新築、増改築等も含めると、やや着工箇所が増えている。小売、サービス、食料品、医療なども活発さを見せている。製造業は、年内までの工程などもあるため、若干人手不足もあったが、堅調な動きである。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今まではあまり人の出入りはなかったが、1月から仕事が忙しくなるということで依頼されている会社が2社ほどある。当社も来月からは忙しくなる予定である。
	人材派遣会社（支社長）	求人数の動き	・ここ数か月営業せずともオーダーが入ってくる状態である。需要はあるものの、人材を派遣できずに断る事が仕事になりつつある。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・製造業の求人募集も多少増加したほか、12月は流通、サービス業、小売店販売員等のパート、アルバイトの求人誌掲載企業数も前年より多くなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業等で求人が増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・当職業安定所の月間有効求人数は、4か月連続で前年を上回っており、新規求人数も前年とほぼ同水準で推移している。景気の安定感がみられる。

	人材派遣会社 (管理担当)	求職者数の動き	・時給により求職者数の多少はあるものの、特に変化はない。求人広告を掲載すると一定数の応募はあるため、最近の求職者数は一定であると感じている。
	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・採用について、今まで以上に慎重で、結論を出すのに時間をかける企業が多い。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き	・求職者数は前年比で減少傾向を示していたが、11月は前年同月とほぼ同じ1.1%減となっている。ただし、フルタイムでの就労を希望する求職者数は、前年同月比で4.2%増加している。
	民間職業紹介機関(経営者)	求人数の動き	・求人は若干増加しているものの、正社員求人には変化がない。
	学校[専門学校] (副校長)	求職者数の動き	・正社員雇用形態の採用は多くある。求職者にとって採用形態は重要なポイントで、また、保護者の見るポイントの多くもそこにある。
	*	*	*
x	-	-	-